

## 第2回勉強会の内容

9月28日(土) 午前  
多聞小学校「丘の子ルーム」にて  
40名の参加者とともに開催

東京大学 准教授

### 加藤孝明先生による講演と皆さんとの意見交換

#### 講演内容 : 備えるべき災害

今後、30年で首都直下型地震が起こる確率は70%と予測されています。被災の確率が小さいエリアでも被災する可能性があります。そこで、明日の防災対策を行いつつ、ゆっくりと30年後も見据えた防災対策が必要です。

#### 講演内容 : これからの防災も街づくり

「防災だけの街づくり」ではなく、「防災も街づくり」という認識が大切です。また、安全性の低い地域であっても、万全の備えに取り組むことによって、地域力が強まり、地域独自の暮らし方を考える良いきっかけともなります。高齢者の新しい活躍も期待できます。

#### 講演内容 : 防災の基本

基本1: 人間の本質として、経験をしていないことは信じない傾向があります(例: 自分が生きている間は、大地震は発生しないと都合よく捉える)。

基本2: 自助・共助・公助と言われますが、いずれにも課題があります(例: 自助の必要性は理解しているが、自宅の家具の固定や非常食の備蓄に不備がある)。

基本3: 過去の被災事例や予測されているデータを知ることは大切ですが、学びすぎず、今の時代・各地域に置き換えて想像をすることが大切です。

#### -意見交換-

会場 超高齢化社会は、防災街づくりにとって良い面もあるというお話ですが、若い世代の力をうまく取り込むことも不可欠だと思います。

講師 ご指摘のとおりです。しかし、例えばですが、最近は65才以上の方でもパソコンを使いこなしている方が多くなってきています。そのような方々を取り込むことも大切です。その一方で、若い世代が地域活動に参加しやすい環境を整えることも大切です。



## アルファ米の作り方の実演・試食会

被災時のための備蓄食品となるアルファ米の作り方の実演と試食会を行いました。参加された小学生から大人の方まで「美味しい!」と好評でした。



## 世田谷区より: みんなで考える「災害に強い街づくり」についての説明

この街の隣の地区である、太子堂二・三丁目地区の地区街づくり計画・地区計画の紹介、地区街づくり計画と地区計画の違いなどを説明しました。この街においても今回のアンケート調査結果などをもとに地区街づくり計画等を検討していく予定です。

~世田谷区からのお知らせ~

池尻四丁目(24~39番)・三宿二丁目

平成25年11月号

# 防災 街づくり 通信

【発行】世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課

世田谷区では、木造住宅が密集している地区である「池尻四丁目(24~39番)・三宿二丁目の区域」で、災害に強い街づくりに取り組んでいます。今年度は、地区街づくり計画等の検討に向けて、テーマごとに講師を招き、講演等をしていただく勉強会を開催しています。住民の皆様と一緒に、今後の街づくりについて取り組んでいきたいと考えておりますので、ぜひ第3回勉強会にご参加ください。

## 第3回勉強会(街歩き)のお知らせ

【日時】(3時間程度を予定)

どなたでも参加できます

11月30日(土) 雨天決行

午前9時30分~12時30分

#### 【当日の内容】

街歩きの説明(講師 井上氏より)

みんなで街歩き(60分程度を予定)

街歩きのまとめ(地図にまとめる)

【会場】多聞小学校 2階「丘の子ルーム」

【住所】世田谷区三宿2-26-11

上履きをお持ちの方はご用意ください。  
歩きやすい服装、履物でご参加ください。

#### 街歩きとは...

普段生活している地区を改めて実際に歩いて見直すことで、様々な街の課題を発見することです。課題だと思える点をマップにまとめ、参加したメンバー間で災害に強い街にしていくための意見交換を行います。



講師: まちづくり専門家

いのうえ かくろう  
井上 赫郎氏

太子堂2・3丁目、三宿1丁目地区をはじめ各地の住民参加のまちづくりで住民とともに考え行動することをめざす専門家

#### 講師より一言

「このまちには防災街づくりにつながる様々な動きがあります。まちに出て、防災メガネをかけて街歩きをしましょう。見えてきたものをみんなで共有しましょう。」



□: 災害に強い街づくりに取り組む区域  
(池尻四丁目24~39番、三宿二丁目)

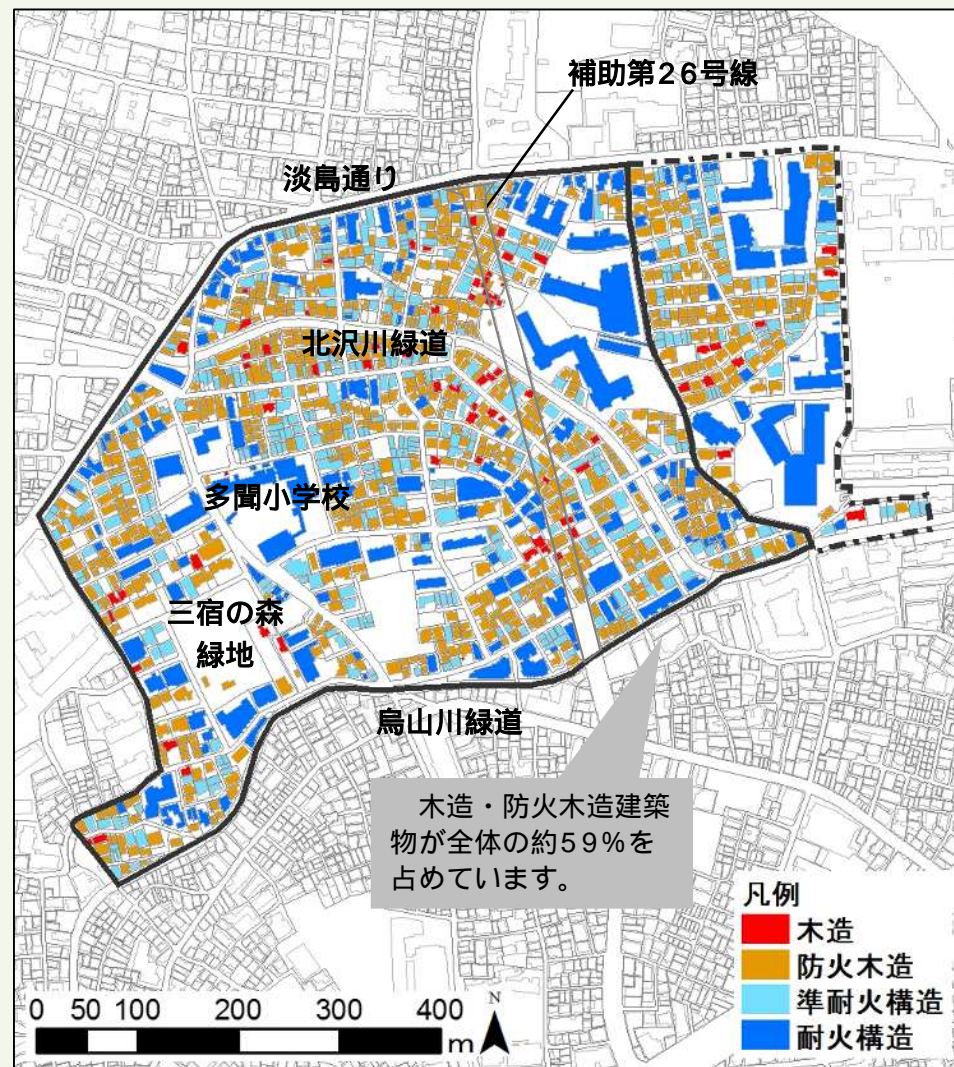


同封のアンケート調査にご協力ください!

### 現状3：震災時の延焼の可能性

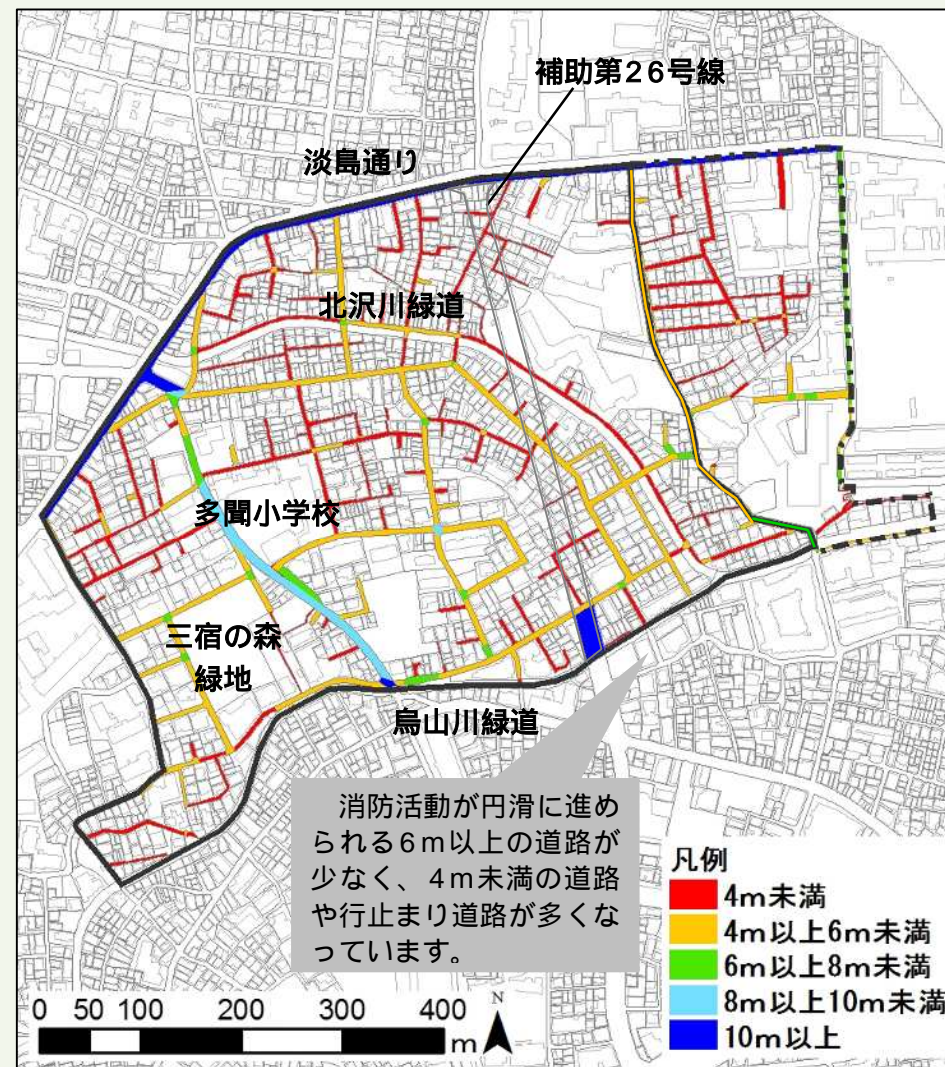
地区内の建物構造や道幅の現状は

建物構造別の分布図（平成23年度現在）



街の燃えにくさを示す指標として、「不燃領域率」という考え方があります。不燃領域率は、街にある建物構造別の面積や道路の面積、空地の面積によって算出されます。

道幅別の分布図（平成23年度時点）



街の燃えにくさ（不燃領域率（東京都方式））は

当地区の面積	道路面積	空地面積	空地率	不燃領域率
a	b	c	$d=(b+c) \div a$	$i=d+(1-d) \times h$
耐火建築物 建築面積	準耐火建築物 建築面積	全建築物 建築面積	不燃化率	60.8%
e	f	g	$h=(e+f \times 0.8) \div g$	

震災時に火事が起こると、燃え広がる可能性あり

60.8% < 70%

不燃領域率は、値が大きいほど街が燃えにくいことを示しています。また、不燃領域率が70%を超えると、焼失率（火災時に燃え広がり、燃え尽きてしまう面積の割合）は、ほぼゼロとなるとされています。

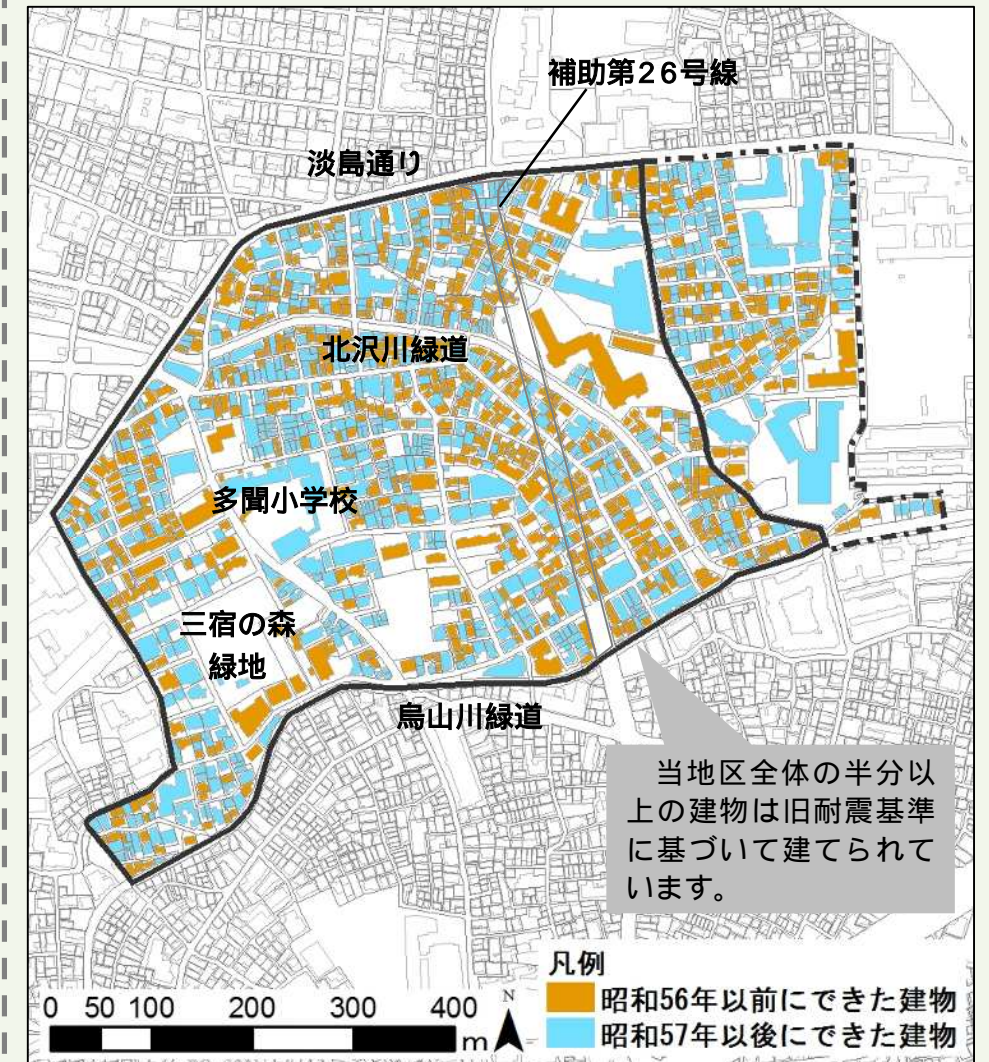
当地区全体の不燃領域率は60.8%であり70%に満たないため、震災時に火災が発生すると、燃え広がる可能性が高く、大きな被害となることが予想されます。

### 現状4：旧耐震基準の建物の分布

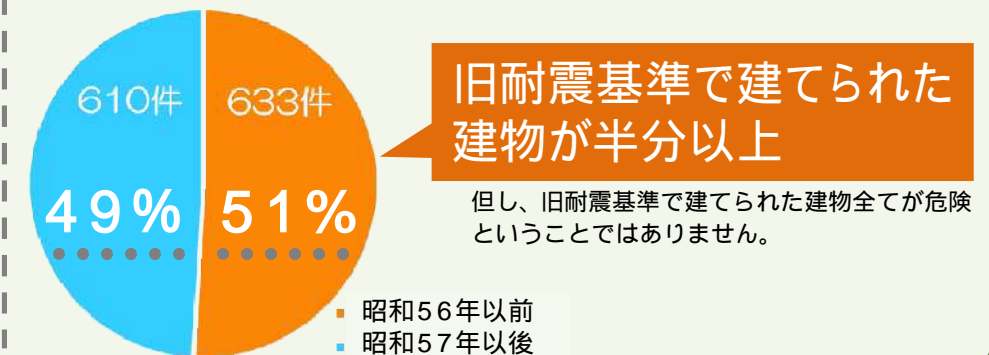
地区内の建物はいつできたものか

昭和56年に建築基準法が改正され、新耐震設計基準ができました。昭和56年以前の旧耐震基準では「震度5程度の地震に耐えうる住宅」との規定でしたが、新耐震基準では「震度6以上の地震で倒れない住宅」との規定に変わりました。

昭和56年以前と昭和57年以後の建築年別の分布図（平成23年度現在）



昭和56年以前と昭和57年以後の建築年別の割合（平成23年度現在）



## 現状 5： 敷地面積の規模

地価の高い地域では、敷地を分割して土地を売買することが多くみられます。その結果、建物同士の間隔が狭くなったり、庭に植えられる樹木が減少し、震災時の延焼被害が大きくなることがあります。

近隣の地区である太子堂二・三丁目地区では、60㎡未満の敷地がこれ以上増えないよう、街のルールが定められています。

敷地面積の規模別の分布図（平成23年度現在）



(切り取り線)

post card



料金受取人払郵便



差出有効期限  
平成25年12月  
31日まで  
(切手不要)

1 5 4 - 8 7 9 0

3 2 2

世田谷区  
世田谷総合支所  
街づくり課 行

東京都世田谷区  
世田谷4 2 2 3 3

アンケート調査の返送のお願い

ハガキ裏面の設問にお答えの上、ご返送ください。

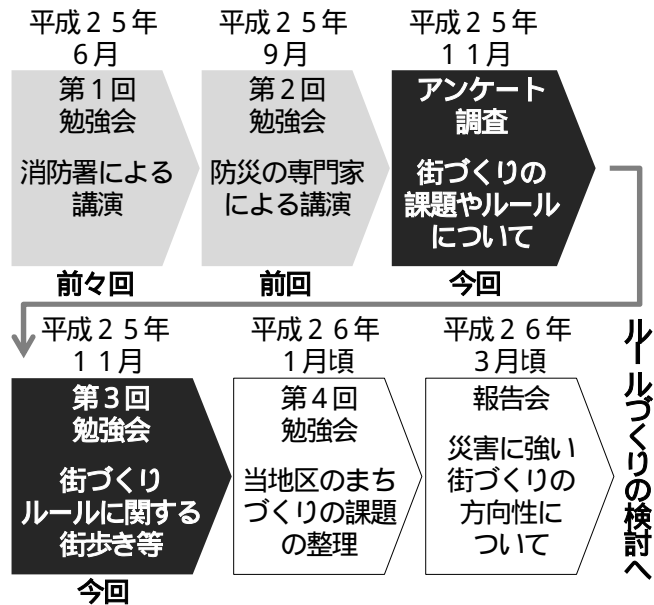
【締切】12月31日(火)

【返送方法】

(切り取り線)でハガキを切り取り、以下のいずれかの方法でお送りください。

郵便ポストへ投函(切手不要)  
 ファクシ(03 5432-3055)  
 街づくり課窓口へ持参  
 (平日8:30から17:00まで)

### 「災害に強い街づくり」の検討の予定



この通信は、対象区域にお住まいの皆さま・土地建物所有者の皆さまに、世田谷区からお届けしています。

お問い合わせ先

世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-22-33

電話：03-5432-2872(直通)

FAX：03-5432-3055

(担当：二見・小出・内田・島津)

# 「地区街づくり計画の検討へ向けた」アンケート調査票

以下の設問について、当てはまる番号を選び、ハガキの【回答欄】にご記入の上、切り取ってご返送ください。

## 【設問1】 (1つずつ選択)

紙面のデータ(私達の街を知る)をご覧になった上で、普段の生活において以下の6つの項目について課題だと思いませんか？

項目	思う	思わない	どちらとも いえない	項目	思う	思わない	どちらとも いえない
街の耐火性	1	2	3	各敷地の 大きさ	1	2	3
狭い道路の 割合	1	2	3	公園、広場の 数・規模・位置	1	2	3
建物同士の 間隔	1	2	3				

## 【設問2】 (1つずつ選択)

この街について、以下の3つの項目に対してどの程度満足していますか？

項目	満足	やや満足	やや不満	不満
まち並み・風景	1	2	3	4
みどりの豊かさ	1	2	3	4
住みやすさ	1	2	3	4

世田谷区では、「災害に強い街づくりへ向けた勉強会」の次のステップとして、この街の環境を改善していくためのルールづくりに向けた話し合いを皆さまと一緒に検討していくことを考えております。

## 【設問3】 (1つ選択)

地区街づくり計画・地区計画によるルールの話し合いがあれば参加しますか？

1 参加したい
2 参加したくない
3 わからない

## 【設問4】

設問1、2、3について、その他街づくり等についてご意見がありましたら右の【設問4回答欄】にお書きください。

(切り取り線)  
アンケート調査票 【回答欄】

設問1				
	/			
設問2				
	/			
設問3				
設問4 回答欄				

よろしければご記入をお願いします。

ご住所： \_\_\_\_\_ 丁目 番 号 \_\_\_\_\_

お名前： \_\_\_\_\_